



陽だまり

高岡市立高陵中学校
第1学年だより
第6号
令和7年9月30日

よき高陵生

3年3組 担任 本田 智

1986年（昭和61年）4月、私は新規採用教員としてこの高陵中学校に赴任し、第2学年の副担任として、教員生活をスタートさせた。当時は、新校舎建設第二期工事が終わり新しい特別教室棟が完成したばかりだった。そんな私の教員生活も今年で40年目を向かえた。そしてそのうちの10年間をこの高陵中学校で勤務している。振り返れば、新規採用教員、教務主任、教頭、定年退職、そして再任用教員と私の教員生活の節目はこの高陵中学校にあった。勝手ながら高陵中学校は、私の第二の母校であると思っている。



最初の1年は、講師経験はあったものの、学年主任であった理科の先輩教員の授業を参考に毎日の授業をするので精一杯だった。部活動も全く経験のないハンドボール部を担当し、ルールもあまり分からないまま、練習試合や大会で知り合った他校の先生に教えてもらいながら顧問を務めていた。2年目は、1年生の学級担任をさせていただいた。それだけでなく、学年委員会や研修部の担当となり、仕事の量も幅も一気に広がった。それから3年間、学年をもち上がり初めての卒業学年を担当した。この3年間は、市内の理科部会先生方との授業研究や研修部で取り組んだ進路指導を中心とした学級活動、外部コーチのサポートを受けて行ったバスケットボール部の指導等、現在の私の原点が詰まっている。そして、そこにはいつも、学習に真摯に向き合い、他を思いやり、学校行事や生徒会活動、部活動に自ら取り組む”よき高陵生”の姿があった。

そんな高陵中学校が今大きく変わろうとしている。高陵中学校が変化したのは初めてではない。これまでも高陵中学校は変化してきた。現在当たり前に思う日常も、これまでの高陵生がよりよい高陵中学校を、教師たちがよりよい高陵生を求め、変化してきた結果である。

現在、新校舎（小学校棟）の増築が終わり、旧校舎（中学校棟）の改築工事が進められている。4月には、高陵小学校を迎え小中一貫校がスタートする。今度の変化では、何が求められているのだろうか。高陵小学校の後輩たちと一緒に過ごす学校生活はどのように変わるのだろうか。変化を求め、慣れ親しんだ日常から離れることに不自由さを感じるかもしれない。しかし、そこにはいつも、学習に真摯に向き合い、他を思いやり、学校行事や生徒会活動、部活動に自ら取り組む高陵生がいるはずだ。

そう、”よき高陵生”の姿は、いつも変わらない。

学級人権弁論大会での生徒感想より



人権を見つめ直すのはとても大切だし、それを踏まえて行動するのはさらに大切だと思います。自分で作文にしたり、人の作文を聞いたりすると、自分たちが今まで注目してこなかったことに気付かされ、勉強になりました。

気付かないうちに他人を傷つけたり、自分自身が「いじめる側」になったりすることが、自分の身近なところで起こっているのだと思います。私たちは知らず知らずのうちに「人権」に強く関わって生きていることが分かりました。

自分は思ったことをすぐに口に出してしまうので、言葉にする前に一度考えて、自分の言葉に責任をもてるようにしたいです。また、他人の趣味を否定しないことは大事だと思いました。自分は自分らしく、他人は他人らしく、着たいものを着て、好きな色は好きと言える環境をつくっていきたいです。

様々な視点から人権について考えることができました。実際に自分たちがうかつにとってしまう行動を見直すことができました。特に「勇気を出して」は私に大きな衝撃を与えた作文でした。

この社会には息苦しさや葛藤を抱える人がたくさんいます。このような人たちにためにも、生きやすい社会になる必要があります。私たちから後の世代の人たちも生きやすいように、この古い固定概念を少し先の未来までになくしたいと思いました。

「私はスカートが嫌いだ」の作文が一番心に残りました。この作文から性別の偏見に縛られ苦しんでいる方がいることを知り、応援したいという気持ちがとても強く残りました。この作文を聞き、自分の気持ちが大きく変わりました。ぜひ、人権弁論大会で多くの人たちに聞いてもらいたいです。



自分以外に同じことを思っている人がいることに驚きました。作文を書いた人たちに共通しているのは、傷ついたり、困ったりしている人のために「何ができるのか?」と考えていること。これはすごいと思いました。

10月予定



1	水	高山終日校外学習 後期学級役員選出(~3日) 部停止	17	金	学校祭準備 学校祭打合せ
2	木	終日校外学習事後学習	18	土	合唱コンクール 学校祭
3	金		19	日	
4	土	万葉朗唱の会 高陵小学校祭	20	月	繰替休業日
5	日	県中文祭	21	火	公聴会リハーサル 学年人権弁論大会
6	月	学校祭打合せ	22	水	公聴会
7	火		23	木	
8	水	後期生徒評議会・専門委員会	24	金	キッズ検診
9	木	県中教研大会 給食なし 午後放課	25	土	
10	金	学級討議 後期生徒評議会・専門委員会	26	日	
11	土	地区新人大会(外) 県 Jr オリンピック陸上 市中文祭	27	月	後期時間割開始
12	日	地区新人大会(外) 県 Jr オリンピック陸上	28	火	モップ交換日
13	月	スポーツの日 地区新人大会(外)	29	水	
14	火	学校祭に関わりのない部は原則部停止 (~18日) 合唱コンクールリハーサル	30	木	市計算コンテスト
15	水		31	金	
16	木				

